

# 令和3年度（2021年度）事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

一般社団法人 全国医学部長病院長会議（AJMC）

（目 次）

- I. 概要
- II. 具体的活動
- III. 組織等の状況

## I. 概要

本会議は定款第3条において「医育機関共通の教育、研究、診療の諸問題及びこれに関連する重要事項について協議し、相互の理解を深めるとともに意見の統一をはかり、わが国における医学並びに医療の改善向上に資することを目的とする。」としている。

定款に定めた目的を達成するため定款第4条に定める以下の事業を実施することとしている。

- (1) 医育機関の教育、研究の振興及び診療の充実に必要な調査研究と情報の交換
- (2) 医育機関の教育、研究及び診療における相互の協力について必要な事業
- (3) わが国における医育機関の代表団体として、内外の医学教育に関連する団体との交渉及び情報の交換
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

定款に定めた目的および事業を達成するため、各種テーマに基づいた委員会活動、各種調査、要望書、提言の発信、説明会の開催等を実施した。

## II. 具体的な活動

当会議の具体的な活動状況は、以下の通りである。

### 1. 教育に関する事業

- (1) 全国医学部長病院長会議が定義した「めざすべき医師像（H28.9.21、AJMC 専門委員会）」の確立にむけてシームレスな卒前卒後教育体制の構築をめざした活動に取り組んできた。特に令和3年度は「医療法及び医師法の一部を改正する法律が5月に公布され、共用試験が公的化されたことに伴い、医学教育委員会、共用試験検討委員会を中心に、文部科学省、厚生労働省及び医療系大学共用試験実施評価機構との円滑な実施に向けての協議を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症禍における医学教育の状況をアンケート調査し、会員

大学に情報提供を行ってきた。

- (2) Student Doctor 認定証カードの円滑な発行に引き続き努めてきた。また新型コロナ禍での CBT、OSCE の円滑な遂行を確認しながら、延期になった Post-CC OSCE の正式実施について医療系大学共用試験実施機構（CATO）と協議を継続してきた。
- (3) 優れた医師が養成される環境を整備するためのグランドデザインの策定を進め、令和 4 年度総会までには発行できるようになった。策定されたグランドデザインを基に、医師養成が将来に亘り、国民の保健・医療・福祉に繋がることから、現状の問題点を整理し、検討を行った。
- (4) 医師国家試験に関する学生・教員のアンケート調査を実施・分析し、改善点などを厚生労働省及び文部科学省に要望書として提出した。
- (5) 医師臨床研修医に関する実態調査では、令和 2 年度の受入れの研修医の充足率や後期研修開始時の出身校への帰学率等の調査を行い、卒後臨床研修の実態を把握した。今後はこの調査結果を元に検討を行い、厚生労働省等に改善に向けての働きかけを行っていくこととしている。
- (6) 専門医制度の急激な変更に対し、医育機関として生涯学習の観点から、専門医制度の制度設計に対する検討を行い、専門医機構や厚生労働省に対して意見を述べるなど立場を鮮明にしてきた。
- (7) 大学医学部入学試験制度に関する規範に基づき実施した令和 2 年及び令和 3 年の医学部医科大学の入学試験に関するアンケート調査を実施した。

## 2. 研究に関する事業

- (1) 減少傾向が続く研究医・医学研究者の養成を推進するため、医学部大学院の研究環境や実態など様々な問題を明らかにするアンケート調査を分析・検討し、令和 4 年 2 月に調査結果を会員に配付した。
- (2) 各大学の適切な自主管理により動物実験が円滑に実施され、人類の健康と福祉の増進につながる科学技術の発展に寄与できる体制を構築してきた。また、我が国の動物実験の在り方について、議論を深めていった。

## 3. 診療に関する事業

- (1) 患者安全の推進を図り、健全な医療に邁進できる環境を整備し、また医療の質の向上に資する無過失補償制度等の在り方について検討してきた。
- (2) 大学病院の医療に関する事項に関して厚生労働省と意見交換をし、大学病院の実情の相互理解を推進した。
- (3) DPC 制度を中心に、診療報酬改定全般の問題を取り上げ、そこから大学病院に関する問題点を検証し、消費税の問題、令和 4 年度診療報酬改定への要望について検討し、厚生労働省に要望した。
- (4) 診療報酬改定が大学病院の経営に及ぼす影響を調査・解析するとともに、医師の働き方改革の現状を把握することを目的として大学病院経営実態調査を実施した。調査結果を解析した報告書を、会員施設に配布するとともに文部科学省及び厚生労働省にも提出した。
- (5) 医師の働き方改革については、会員大学への周知を図るためのセミナーを 3 回開

催すると共に、医師の働き方改革検討委員会において、文部科学省、厚生労働省とも協議を行いながら、円滑な導入についてき協議を重ねてきた。また、検討の過程で生じた疑問点などについて、厚生労働省等と協議を行い、Q&Aの形で会員大学に周知すると共に、各大学病院の取組状況についてのアンケート調査を実施し、情報提供を行うと共に関係省庁や関係議員への要望に繋げてきた。

#### 4. 管理・運営事業

- (1) 医学研究に関わる個人並びに組織の利益相反に関するガイドラインや指針に関するアンケート調査を実施中である。また製薬企業等からの寄付金に関して関係製薬企業と協議を行うと共に会員大学への周知を行った。
- (2) 男女共同参画に対する会員大学医師の意識調査を実施し、その解析を行い、その結果を広く社会に公開し、男女共同参画の推進のための報告書及び提言をとりまとめた。令和4年4月に会員に配布するとともに、広く社会に知らせしめるために記者会見を計画している。
- (3) 活動内容を会員のみならず社会へ発信し、医療関係者のみでなく、行政・医療機関者や国民の理解を得ることに努める。
- (4) 新型コロナウイルス感染症に対しては、横断的な委員会により、教育、診療、研究などの諸課題に対しAJMC一体として総合的、戦略的に対応した。
- (5) 本会議の運営に必要な規則等の整備を進めた。

#### 5. その他事業

- (1) 時々のテーマに沿った緊急調査など迅速に対応し、分析・公表を行い、わが国の医学教育のさらなる発展に貢献してきた。
- (2) 医学部・医科大学の種々の状況を隔年で調査・分析し情報を共有した。また、関係各層に発信してきた。
- (3) 医学部・医科大学の教育カリキュラムを隔年で調査・分析し、会員への提供を行う。
- (4) 医療の最前線を担う日本医師会と医師の養成ならびに研究を担う機関であり、高度急性期病院を有する勤務医中心の医学部・医科大学(AJMC)が、互いの課題や調査結果などを持ち寄り意見交換し、互いの理解を深め医学・医療の発展のための懇談会を実施した。
- (5) 医学に関する教育・研究・診療の諸問題及び関連する事項について、関連省庁である文部科学省、厚生労働省と本会議が忌憚りの無い意見交換をする場として、定期的に三者懇談会を実施した。

#### 6. 要望書・声明文・提言等

- ・令和3年5月6日(木)  
新型コロナウイルス感染症第4波－医療を崩壊させないために(声明)
- ・令和3年8月10日(火)  
新型コロナウイルス感染症第5波が大学病院診療に与える影響(声明)
- ・令和3年8月16日(月) 令和4年度診療報酬改定に関する重点要望事項

- ・令和3年10月4日（月） 第115回医師国家試験に関する要望書
- ・令和4年2月14日（月） 共用試験公的化の実施に関する要望

#### 7. プレスリリース

- ・令和3年4月2日（金）
  - 1.新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の経営状況調査（12月度）
  - 2.新型コロナウイルス感染症に伴う通常診療への影響調査結果
- ・令和3年4月28日（水）
  - 1.新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の経営状況調査（1月度）
  - 2.新型コロナウイルス感染症に関する緊急包括支援金受給状況
- ・令和3年6月1日（火）
  - 1.新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の経営状況調査（2月度）
  - 2.新型コロナウイルス感染症に関する緊急包括支援金受給状況
- ・令和3年6月22日（火）
 

新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の経営状況調査（3月度）
- ・令和3年11月16日（金）
 

新型コロナウイルス感染症が大学病院経営に与えた影響（令和2年度）

#### 8. 冊子発行

- ・令和3年5月 「広報誌 No.73」 HP 公開
- ・令和3年5月 「わが国の大学医学部・医科大学 白書2020」 発行
- ・令和3年9月 「医師国家試験に関するアンケート調査報告」 発行
- ・令和3年7月 「令和2年度 全国大学附属病院研修医に関する実態調査報告」
- ・令和4年1月 「令和3年度 大学病院経営実態調査報告」 発行
- ・令和4年3月 「令和3年度 地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査報告」 発行

### III. 組織等の状況

組織等の編成は以下の通りである。（令和4年3月31日現在）

#### 1. 会員数

| 医学部・医学科 | 会員数 | 付属病院 | 会員数 |
|---------|-----|------|-----|
| 国立大学    | 43  | 国立大学 | 43  |
| 公立大学    | 8   | 公立大学 | 8   |
| 私立大学    | 31  | 私立大学 | 31  |

#### 2. 役員

| 役職  | 定員数 |
|-----|-----|
| 会長  | 1名  |
| 副会長 | 1名  |

|    |     |
|----|-----|
| 理事 | 30名 |
| 監事 | 2名  |

### 3. 顧問・相談役

|     |     |
|-----|-----|
| 役職  | 定員数 |
| 顧問  | 2名  |
| 相談役 | 1名  |

### 4. 活動グループ

|           |     |
|-----------|-----|
| グループ名     | 団体数 |
| 専門委員会     | 17  |
| 小委員会      | 1   |
| ワーキンググループ | 6   |
| その他活動     | 3   |

[専門委員会/ワーキンググループ等]

- 専門委員長会
- 医学教育委員会
  - ・ 大学医学部入学試験検討小委員会
  - ・ 医師養成のグランドデザイン検証WG
  - ・ 国家試験改善検討WG
  - ・ 卒後臨床研修検討WG
  - ・ 専門医に関するWG
- 共用試験検討委員会
- 医学部大学院のあり方検討委員会
- 動物実験検討委員会
- 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会
- 患者安全推進委員会
- 大学病院の医療に関する委員会
  - ・ D P C(包括評価支払制度)に関するWG
  - ・ 経営実態・労働環境WG
- 総務委員会
- 臨床研究・利益相反検討委員会
- 男女共同参画推進委員会
- 広報委員会
- 被災地医療支援委員会
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関わる課題対応委員会
- 医師の働き方改革検討委員会
- 医学部・医科大学の白書調査委員会
- カリキュラム調査委員会

[その他活動]

- 医療に関する懇談会（日本医師会・全国医学部長病院長会議）
- 三者懇談会（文部科学省・厚生労働省・全国医学部長病院長会議）
- 全国医学部長病院長会議・共用試験実施評価機構との意見交換会

5. 事務局運営

| 事務局配置区分 | 配置要員数 |
|---------|-------|
| 事務局 長   | 1名    |
| 事務局 職員  | 4名    |

**【令和3年度 事業報告の附属明細書について】**

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載するべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。